

2022.3

第一回 福島・東北 教員合同

福島第一原発 被災地視察会

視察研修
報告書

2022
3.26日・27日



はじめに

2022年3月26日(土)・27日(日)

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故から11年になります。復興へ向けて様々な活動が継続されていますが、まだまだ長い道のりが続いています。

今回の福島・東北の教員のための合同視察は、そうした状況下での福島第一原子力発電所と震災被災地域の現状と今後に向けた課題の理解、そして今後の放射線や原子力、社会的課題に関する教育のための検討を目的に、福島県内、東北の教員が合同で視察を行い、情報交換と意見交換をして、より広く現状が広まるよう企画をいたしました。

NPO 法人 ハッピーロードネット
理事長 西本 由美子

1日目

■2022年3月26日(土)

10:10～

廃炉資料館視察



●廃炉資料館にて説明を受けた



▲廃炉資料館外観

■2022年3月26日(土)

10:20～

福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策の最高責任者(CDO)である小野明氏の講話、1F 新事務所本館視察

第一回 福島・東北 教員合同 福島第一原発・被災地視察会 視察行程表

●3月26日(土)

10:00 集合 廃炉資料館
10:20～ 移動・1F 新事務所本館(小野 CDO 講話)
装備脱衣・スクリーニング・WBC
18:00～ 廃炉資料館出発 → 各自Jヴィレッジ集合
1日目振り返り(Jヴィレッジ会議室)
Jヴィレッジ宿泊

●3月27日(日)

8:30 Jヴィレッジ出発(全員バス移動)
9:00～11:30 双葉町視察・双葉南小学校視察
11:50～ 浪江町請戸小学校視察
12:30～13:00 昼食(道の駅なみえ)
13:30～14:30 リプルンふくしま
15:00 Jヴィレッジ着
15:10～17:00 2日目振り返り(Jヴィレッジ会議室)





■ 2022年3月26日(土) 参加者本人確認後、福島第一原子力発電所視察





● 1号機建屋



● 2号機建屋



● 3号機建屋



● 4号機建屋



●キュリオン吸着塔保管エリア



●タンク下の堰



●モルタル吹き付け(フェーシング工事)



●サブドレン設備



●サリー吸着塔保管エリア



●雑固体焼却施設



●タンク保管エリア



●フランジ型タンク



●高性能多角種除去設備外観



●既設多角種除去設備(既設ALPS)



●協力企業看板(入退域管理棟)



●使用済み防火水槽



●地下水バイパス設備



●排気筒



●大型休憩所



●免震重要棟



●排気筒(カット後)



●溶接型タンク



●陸側遮水壁(凍土壁)設備



●中間貯蔵仮置き場(富岡町)



●中間貯蔵施設(大熊町夫沢地区)



●中間貯蔵運搬車両



●大熊町熊地区



●大熊町熊地区



●特定復興再生拠点内建物

2日目 ■2022年3月27日(日) 9:00～11:30 双葉町視察



▲双葉地区の住宅を視察

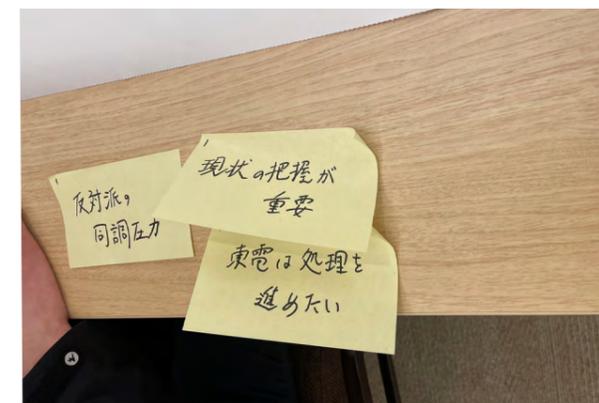
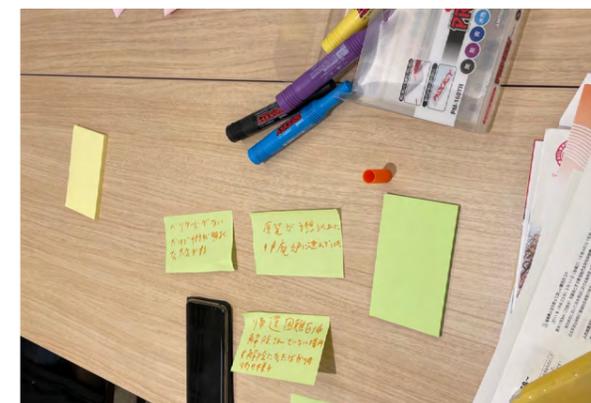
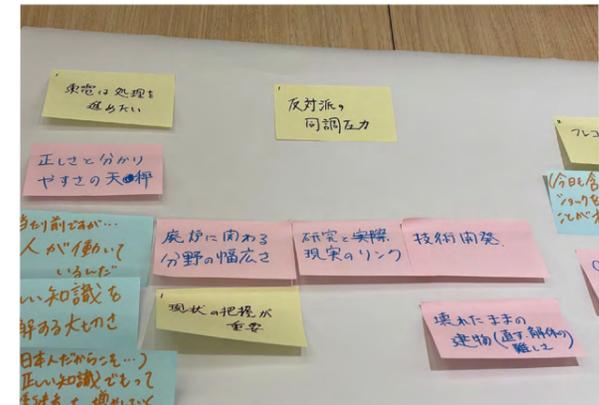
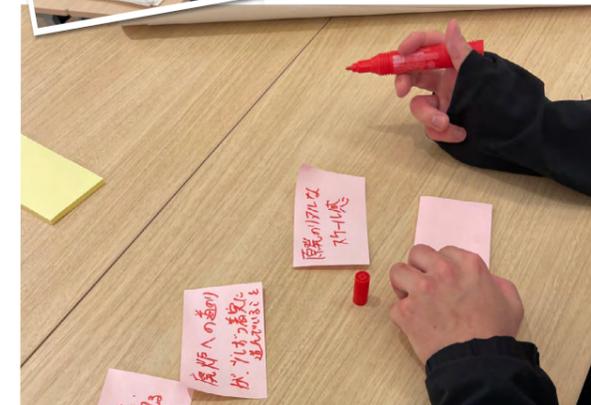


◀バス中にて橋本さんに被災地の状況を解説していただいた。

■2022年3月27日(日) 9:00～11:30 双葉南小学校視察



■2022年3月27日(日) 15:00～17:00 振り返り (Jヴィレッジ会議室)



振り返りアンケート

※回答者数 11名

1 時期について

3月26日(土)、27日(日)という開催日について、また週末に設定したことについてどう思われましたか? 御意見をお書きください。

- ・コロナを考えてこの日程にせざるを得なかったが、引っ越しを考えるともう一週間早い方が良かった。
- ・良い
- ・春休みの中で参加しやすかった。
- ・週末設定はとてありがたいです。気分的には丁度良いですが、年度末なのでバタバタしてしまいました。
- ・コロナの影響を鑑みると丁度良い時期だったと思います。
- ・説明して下さった方々は、休日にも関わらずご参加いただき、本当にありがたいと思っています。
- ・週末ということで参加しやすいと思います。協力いただいた方には、お休みの日にもかかわらず、ありがとうございました。個人的には部活指導をこの時期ならお休みにできたので、良かったです。
- ・週末だからこそ、研修して参加するハードルが低く感じた。
- ・ちょうど春休みであり、大学入試が近いこともあって参加しやすかったし、大学で何を学びたいのか改めて確認したり、新たに学びたいことを発見できたりしました。
- ・3月に設定していただいたことで、より深く向き合うことができたと思います。年度末でお忙しいのはみなさんご一緒なので…個人的にはちょうど良い日程でありました。
- ・1月中旬、もしくは3月下旬

振り返りアンケート

2 内容について

研修内容について、評価及び感想・ご意見をお書きください。
(評価目安 1(不満) 2(やや不満) 3(やや満足) 4(満足))

(1) 福島第一原子力発電所視察について

評価 1= 0名 2= 0名 3= 0名 4= 7名

- ・小野さんの話が、最新の状況を説得力を持って聞くことができ良かったです。これまで歩いたことのない、2・3号機の間を歩くことができ、現場のスケール感と廃炉の進み具合を知ることができました。
- ・原発構内を歩けたのは良かったです。小野さんと直接話せる機会をいただき、ありがとうございました。
- ・最高責任者の小野さんから直接お話を伺えたり、対話できたり、非常に充実した視察となった。やはり、自分の目で見る、空気感を感じることの重要性を改めて学んだ。貴重な機会をありがとうございました。
- ・非常に丁寧に説明いただき、さらに原発のすぐ近くまで行けたのがすばらしかった。「正しさ」と「分かりやすさ」のバランス感が難しいと悩まれているのが印象的だった。
- ・2回目の参加でしたが、前回とは異なるコースであり、現場の変化や現状について見ることができ、子供たちに伝えやすくなりました。小野様の話には大変説得力があるため、貴重な時間でした。
- ・普段入ることができない場所に入り、聞けない思いを聞くことができた。
- ・中学生の頃、被災した当時はまさか原発を視察に来るなんて考えてもいませんでしたし、どこか避けている部分もありました。しかし、勇気を出して来て良かったです。正しい知見を深めることとして本当に大切であると改めて感じました。また伺いたいですし、次は内部も見学できればと思います。

振り返りアンケート

(2) 特別講義 (西本由美子氏、千葉教諭) について

評価 1= 0名 2= 0名 3= 0名 4= 8名

- ・西本さんの熱い思いを聞いてよかった。
- ・各校での取り組みを見て、参考になりました。
- ・「リアル」な人が「リアル」を伝えるという経験は、化学と感情が複雑に絡む原発事故や放射線教育に関して、なくてはならないし学びが大きな物になった要因である。
- ・お二人の熱さを感じることができた。辛い中でも精力的に活動しようと思われた西本さんのお志しに感動した。他の先生方のお話も面白かったので、有意義な時間でした。
- ・高校生は大きな力と可能性を持っています。それを引き出すことを長年実践されていること大変素晴らしい事です。
- ・お二人の講話を聞き、安全と安心のギャップ、被災者視点の思いなど、普段聞けないようなことを聞き、改めて復興や将来の被災地の行方を考えるきっかけになった。
- ・震災当時から前線に立って活動されている西本さんのお話で、当時の臨場感を伺い、西本さんと千葉先生の実践的なお話も伺うことができ、自分自身のもどかしさと更に学びたいという気持ちが大きくなりました。

振り返りアンケート

(3) 被災地視察について

評価 1= 0名 2= 0名 3= 0名 4= 11名

- ・個人の話も集団の話も両方聞いて、多面的に学べました。橋本さんの話が胸にせまりました。小学校も2つ見れたことが大きな学びになりました。
- ・当時の様子が分かった。身に染みて感じる事ができた。自分の中の印象が変わった。
- ・中間貯蔵施設内や双葉駅前など明るい面とそうでない面を見れた。
- ・双葉地区の住宅を見せていただいたのは衝撃でした。地形も変わった新しい街を住民とどう作っていくのか考えさせられました。
- ・双葉町役場の橋本さんと直接対話しながら、帰還困難区域を巡る経験はなかなかできるものではない。大変貴重な経験になった。双葉町を少しだけ知ることができた。五感で感じ学んだ時間だった。
- ・普段なら見られない場所を見ることができ、地域住民の方々が何に苦しんでいるのか一端を感じとれた気がした。
- ・双葉町は通過するぐらいのことが多く、今回は普段行かない小学校2ヶ所見ることができ、当時の様子をより思い浮かべる事ができた。
- ・被災者の視点と行政の視点をもった橋本さんの話を聞きながら、現地で状況を見たことで、被災者との向き合い方や、自分にはどんなことができるかを考えることができた。
- ・双葉町の見学は初めてだったし、橋本さんから実際にお話を聞いて、お家に上がらせていただいて、帰還困難区域の現状や避難している方々の思いを知る事ができました。「光と影」があることを改めて感じました。実際に歩いて体験できて五感で感じる事の大切さを感じました。
- ・今回、双葉南小を見学する事ができたのは、貴重な経験となりました。また、橋本さんからのお話も頂いたことで、残された小学校然り建物、土地を見ますと3月11日で時が止まっている一方で、避難を余儀なくされた方々の人生は、その後も、そして現在まで続いていたのだと、目・耳・肌で感じる事ができました。
- ・橋本さん宅、双葉南小学校の見学は衝撃的でした。五感を使って見る、経験することの大切さを、相双地区に何度も足を運んでいる自分でさえ強く感じました。

振り返りアンケート

(4) 教員間の情報交換について（振り返り会、食事会、その他移動中など）

評価 1= 0名 2= 0名 3= 2名 4= 9名

- ・大学生の話も聞けて、新採用の先生の話も聞けて、前向きな視点が多く学びになりました。
- ・他の人の意見も聞けて、情報量が増えた。
- ・様々な科目の先生がいらっしやるのが非常に刺激になった。
- ・振り返りの大切さを改めて感じました。食事会や移動中も視察以外のことについても情報交換でき、気づきにつながりました。
- ・時間的に厳しい面があったが、先生方と直接お話し、振り返る機会は自分の考えを整理できた。こうした縁を大切にしていきたい。
- ・他の先生方のお話面白かったので有意義な時間でした。
- ・東北地区の教員の関心がとても低いことが感じられた。伝え方の難しさを感じた。少人数での対話は大人数に比べて本音が出やすいので、有効であった。
- ・学校間での実践の違いやその難しさ、教科間のやりとり等、今後の実践に役立つような情報交換ができた。もう少し時間が欲しかった。
- ・先生方と意見を交換することで自分とは違う視点でとらえることができたし、将来に向けて活かしたいと思いました。
- ・熱心に活動されている他先生方の実践や体験談を伺うことができたのはとても刺激的でした。
- ・若い先生方、大学生から意見や感想を聞いたのが、すごくよかったです。熱を伝わる時間でも居心地がよかったです。

振り返りアンケート

3 研修内容の活用について

今回の研修内容は、皆様の教育活動（大学生は今後の人生）にどのように活かせるでしょうか。今の時点での考えをお書きください。

- ・より良い教員研修のヒントをいただきました。「テーマを決める」「多面性をもたせる」まだまだ学びはつきません!
- ・教員がどのように悩んでるか、どこに疑問を持つか分かり、教員になった時のイメージが沸いた。
- ・自分も人に伝えたりするような機会を積極的に作って活用したい。
- ・現在、被災地近くの学校に勤めているので、生徒理解、地域理解に繋がりたいです。ふるさとに根付いてくれる人材育成をしたいです。
- ・科学と感情が複雑に絡み合う問題は、特効薬ではなく、単純なものではないことを改めて認識できた。原発事故、処理水、復興…然りである。まずは、私がいっかり「伝える」こと。また、生徒が色々な情報やヒストリーを伝え合う場を作りたい。科学的な視点・社会的な視点を持ち、生徒が「対話」する経験を積ませ、解のない問いにも「対話」を武器に立ち向かっていける生徒を一人一人育てていきたい。今回の学びを生かしていく。
- ・復興に関連して新技術がどんどんと導入・開発されていることは、福島の子供たちにとって、学ぶことの意味が生まれると思います。一方で、その流れに乗ることができない地域住民の心情も伝え、その矛盾の解決が復興につながることを理解させたい。
- ・教員のほとんどは、震災について語らなくなった。伝承という意味で、教員の中での意識が薄まらないよう、今後の課題にもっと目を向けられるよう伝えたい。
- ・放射線そのものの意識を伝えるだけでなく、現地・現場の思いも伝えたり、感じてもらう機会を設けたいと思った。加えて、アウトプットの場も設ける必要があると思った。
- ・将来、教員を目指す身として科学的な部分と人々の想いという心情的な部分を伝えていきたいと考えているので、今日の橋本さんのお話のように、経験者のお話を聞いて、科学的な点もふまえて未来を見ていけるような活動を大学でしたいです。
- ・振り返りでも西本さんのお話しされていましたが、体験・見聞きしたことを他の人、先生、生徒へ伝えていくことが大切であると感じます。今回の研修を通し、初めて見る・聞く・知ることが多かったのですが、1回でなく何回も体験し、自分の言葉で伝えることができる程、理解に落とし込みたいと考えます。

振り返りアンケート

4 課題・改善点について

本研修をより良いものにするために、問題点や改善点があればお書きください。

(1) 研修内容について

- ・昼食の時間が少し足りない気もしますが、盛りだくさんで良かったです。
- ・「対話」の場が準備されていたので、さらにもう少しゆっくり「対話」できる時間があれば嬉しいなと感じました。
- ・良かった点ですが…復興における光と影を見れる良い日程でした。この二点を見せていただけてとても興味深かったです。
- ・内容は非常に濃く、自分の意識以上の内容が多く得られた。情報の整理が難しいと思うが、自分なりにまとめるなどしていきたい。
- ・原子力発電のメカニズムがわかっていない人にとっては難しいと感じた。
- ・内容が濃くてとてもよかったです。見学時間がもっと長いと良かったと思います。
- ・研修内容については満足しております。今回の帰宅困難地域や双葉南小など、普段、行こうと思っても難しい箇所へ何うことができたのは、自分にとって大きな経験となりました。(小野さんや橋本さんからのお話なども含めて)感謝しております。
- ・研修の意図があってかなり良かったです。ただ、タイトすぎたので請戸小学校だけでもカットした方が良かったと思いました。

振り返りアンケート

(2) 研修の運営について

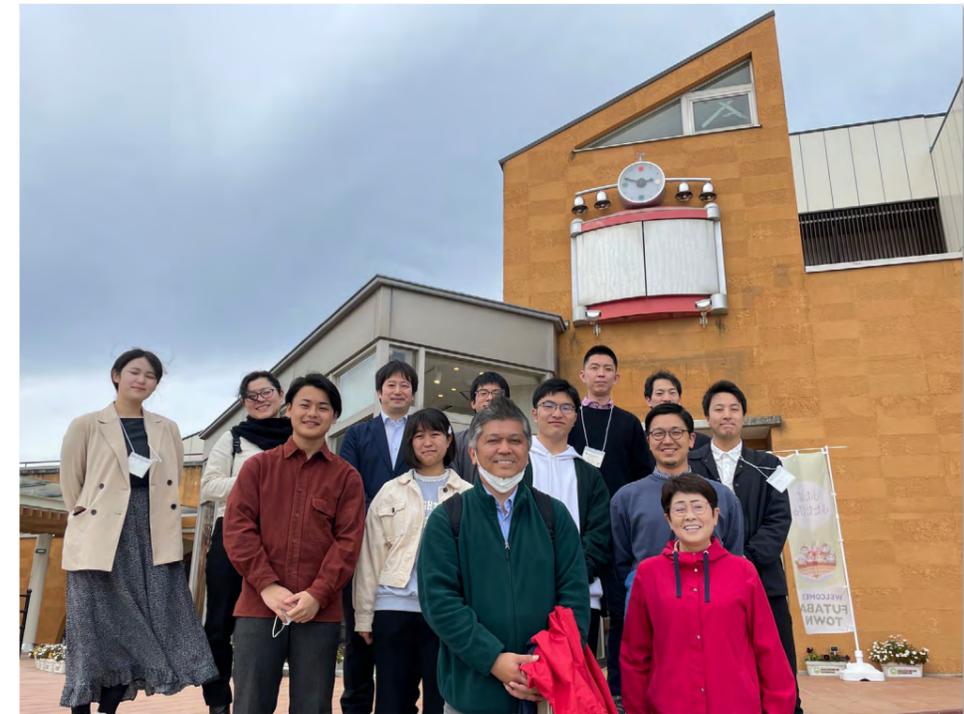
- ・タイトなスケジュールで休まらないのもまた良かったが、もう少しゆとりがあると請戸小等もしっかり見れたかなと感じた。
- ・日程がタイトなのは、仕方ないと思います。ありがとうございました。
- ・聞く場面、話す場面のメリハリをつけてほしい。担当者の方が説明中に他の話をされると気になってしまう。
- ・とても良かったです。
- ・運営についても満足しております。Jヴィレッジには初めて来ましたし、宿泊いたしました。浪江の道の駅もそうですが、震災後、新しく踏み出している施設などを利用すべきであると、中通りの人間として感じました。

振り返りアンケート

5 研修の希望について

今後このような研修があると良い、という希望があればお書きください。

- ・ 小学校2つを回るのが、教育効果ががすばらしい。
- ・ 民間人の声も聞いてみたい。
- ・ 各校の学生を交流させると多くの意見が出るかも!?!?
- ・ 双葉町の中を見ることができたのは色々と感じることもあったので、今後も続けてほしいです。
- ・ 希望というかですが、高校生が気軽に参加できる場を教えていただけると幸いです。
- ・ 今回も面白かったです。ありがとうございました。
- ・ 大学生と交流できるというのは、現場の教員にとっては刺激があり、今後も実施されると良いと思う。
- ・ 生産者の意見になども聞いてみたい。
- ・ 大学生や高校生が行う実践や一緒に行く視察。
- ・ 震災を経験した人の中でも市町村によって想いや意見が違うので、様々な人の声を聞ける研修があると良いと思います。
- ・ 次はぜひ社会科教員を誘ってみたいと思います。本当に貴重な機会をありがとうございました。
- ・ テーマを明確にした研修



●双葉駅前にて